

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆政府、減税・補助金見直しへ意見公募開始 27年度予算編成で反映狙う

・政府は租税特別措置(租特)と呼ぶ政策減税や補助金の見直しに向けた意見公募を開始した。広く国民から意見を募り、政策点検に生かす。効果の乏しいものは廃止・縮小し、2027年度予算の編成で歳出のムダを削減する。意見は内閣官房のホームページ上で2月26日まで受け付ける。

◆難病・希少疾病向け新薬、開発支援へ国が基金 治験費用を補助

・内閣府は患者数が少ない難病や希少疾病の治療法を開発するため、日本を含む複数の国で実施する国際的な新薬の臨床試験(治験)を支援する。国際共同治験の経験が乏しいスタートアップや中堅製薬企業を対象とする。複数の国で治験を実施することで必要な患者数を確保しやすくし、採算性も高める。

◆長期金利上昇、一時2.125% 日銀利上げ加速観測で債券売り

・5日の国内債券市場で長期金利の指標となる新発10年物国債の利回りは一時2.125%に上昇(債券価格は下落)した。売買高の多い「指標銘柄」が長期金利とされていた1999年2月以来、およそ27年ぶりの高水準となった。円安を背景に日銀の利上げペースが速まるとの観測から債券売りが広がっている。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆フラット35、1月の最低金利は2.08% 現行制度で初の2%超え

・住宅金融支援機構は長期固定金利型の公的住宅ローン「フラット35」に関し、借入期間が21年以上の1月の最低金利(住宅の購入価格に対する融資率が9割以下の場合)が2.08%になったと発表。2017年10月に現行制度になって以降、初めて2%を超えた。25年12月は1.97%で3カ月連続で上昇。日銀の利上げなどによる長期金利の上昇が影響。

◆産業資材の値下がり品目、1年半ぶりゼロに 1~3月コスト転嫁で

・主な産業資材12品目の1~3月の価格見通しを調べたところ、下落見込みは1年半ぶりにゼロになった。値下がりが続いていた鋼材では人件費や輸送費などの高止まりに加え、製鉄原料の値上がりを受けてメーカーが相次いで値上げを表明。国内流通価格の反発につながりそう。日本経済新聞は素材メーカーや商社に価格見通しを聞き取り調査。

◆東電が10年で11兆円投資へ 原発・再エネ拡大、脱炭素電源40年度6割に

・東京電力ホールディングス(HD)が今後10年間で新たに11兆円超の投資が必要だと見込んでいることが分かった。原子力発電所や再生可能エネルギーに資金を投じて、電力供給に占める脱炭素電源の比率を2040年度に6割超に高める。外部企業からの出資受け入れを通じて、成長投資を進めたい考え。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■ユニソン、スマートキー搭載宅配ボックス ヴィコスマート DB

・スマートフォンアプリでの解錠を標準装備したポスト一体型宅配ボックス。オプションを追加することで、カード認証、指紋認証、リモコン操作にも対応。宅配業者は荷物投入後に、扉のつまみを「Lock」に回すだけで施錠が完了。大型郵便物や小型荷物の追加投函が可能。



■YKK AP、「リウッドデッキ」の施工性向上

・再生木デッキ「リウッドデッキ 200 EG」「リウッドデッキ 200」をリニューアルし、「リウッドデッキS EG」「リウッドデッキS」として発売。高い耐久性と安定した使い心地はそのままに、施工性と仕上がりの美しさを向上。剛性を上げながら熱反りに配慮した仕様に変更。

